

ブリーフィングを行います。
 日時：令和6年2月9日（金）12時30分～
 場所：県庁8階会見室
 ※この資料をご持参ください。



環境部循環型社会推進課
 担当：執行、松村
 直通：092-643-3381
 内線：3497

リユース太陽光パネルによる発電実証を開始します！

～太陽光パネルの排出量増加に備え、リユースを促進～

- 県では、太陽光パネルの将来的な排出量増加に備え、平成30年度から、（公財）福岡県リサイクル総合研究事業化センターと共同で、パネルのリサイクルを推進するための協議会を設立し、「廃棄太陽光パネルスマート回収システム」の構築などに取り組んできました。
- さらに、パネル排出量の更なる低減を図るため、今年度から、発電事業者（PPA事業者[※]）、メンテナンス事業者、収集運搬事業者、リサイクル事業者等と連携して、使用済パネルのうち、まだ発電可能なものを再利用する太陽光パネルリユースモデル事業にも新たに取り組んでいます。
- 今般、大川市にある家具メーカーの工房にリユース太陽光パネルを設置し、発電した電力をPPAにより建物内で利用する実証を2月9日から開始します。この実証で、リユースパネルの発電効率の変化を確認するとともに、PPA事業における採算性の評価を行います。
- 本事業では、発電実証に加え、使用済パネルが再利用可能かどうか低コストに診断する方法や、パネルの効率的な運搬方法についても検討し、太陽光パネルのリユースに係る低コストで信頼性の高い「福岡県モデル」を構築して、県内での太陽光パネルのリユースを促進していきます。

※ PPA (Power Purchase Agreement)・・・電力販売契約という意味で、「第三者所有モデル」とも呼ばれる。発電事業者が、他社が所有する施設の屋根等に無償でパネルを設置し、発電した電気を施設所有者に販売し、利益を得る事業形態。

1 発電実証の概要

- ・ 設置場所：株式会社ワズコーポレーション（家具メーカー）
 （大川市大字津648-3）
- ・ 発電目的：設置場所での自家消費（PPA契約）
- ・ 設置枚数：67枚 ※5～10年間使用したパネルを再利用
- ・ パネル出力：計16.1kW（住宅約4軒分の発電量に相当）
- ・ 実施者

■株式会社アズマ

PPA事業者として、リユースパネルを設置。
 遠隔監視による発電効率の確認及び事業採算性の評価。

■株式会社システム・ジェイディー、株式会社浜田

使用済パネルが再利用可能かどうかを設置前に診断。
 今後、簡易検査機器等を用いた低コストなパネル診断方法の検討を実施。



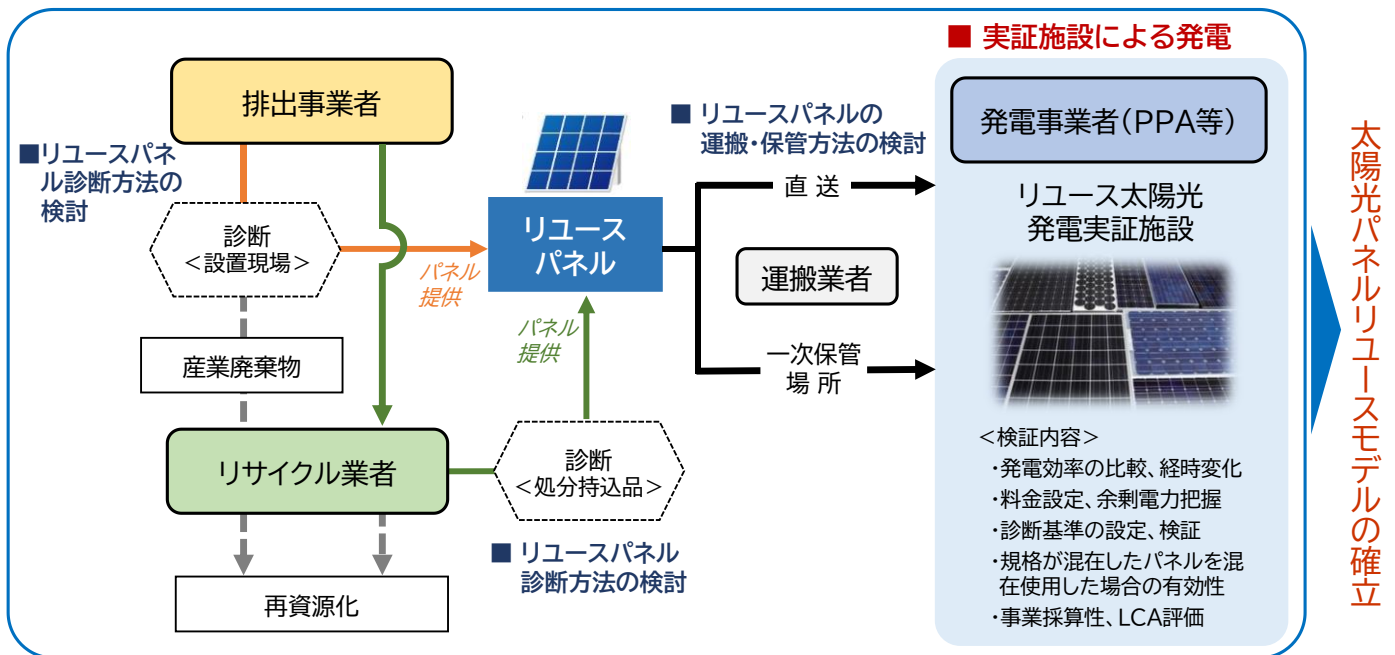
設置場所外観



屋上に設置したリユースパネル

2 太陽光パネルリユースモデル事業の実施スキーム

太陽光パネルリユースの事業化を目指す関係事業者らと共に、パネルの診断・運搬・発電の各工程での課題を整理し、一連の実証を行って、リユースモデルの構築を目指す。



3 事業の実施体制

平成30年度に設立した「太陽光発電（PV）保守・リサイクル推進協議会」内に、昨年6月、「リユースモデル事業ワーキンググループ」を設置。

＜参加メンバー＞ （事務局：福岡県リサイクル総合研究事業化センター）

(株)アズマ、NEメンテナンス(株)、(株)紙資源、北九州市立大学 松本亨教授、(株)システム・ジェイディー、(株)新菱、(株)浜田、三菱HCキャピタル(株)、(株)リサイクルテック ※五十音順

4 現地取材について

設置場所での現地取材に対応します。取材時は、屋上に設置したリユースパネルの状況を撮影できるほか、(株)アズマ及び(株)ワンズコーポレーションの担当者への取材が可能です。

取材を希望する場合は、下記(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センターにお問合せください。(取材日時は、個別に調整します)

関係者連絡先

(発電に関すること)

■株式会社アズマ（担当：宮崎）
〒834-0006 八女市吉田1645-4 TEL：0943-24-4001

(診断に関すること)

■株式会社システム・ジェイディー（担当：伊達）
〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-8-33 福岡システムLSI総合開発センター4F TEL：092-832-5276

■株式会社浜田（担当：入端）
〒802-0003 北九州市小倉北区米町1丁目1-1 小倉駅前ひびきビル6階 TEL：0120-600-560

(事業全般に関すること)

■公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センター（担当：プロジェクト推進班 田尻、大塚）
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2番1号 産学連携センタービル4階 TEL：093-695-3069

